消防だより

有田川町消防本部　☎52-5950
吉備金屋消防署　☎52-5950
清水消防署　☎25-1243

令和8年（2026年）9月末現在の出動件数
火災　…　9件
救急　…　1055件
救助　…　19件

令和8年度全国統一防火標語「火の確認　いい日を支える　いい習慣」

第15回「防火の詩（うた）」募集

火災予防啓発の一環として、皆さまから火災予防に関する「標語・俳句・短歌・川柳」を募集します。形式・様式に決まりはありません。日頃の生活の中で火災予防を呼び掛ける標語などを、消防本部までお寄せください。

●**対象**／有田川町内に在住または在勤されている方。

●**応募方法**／住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号・職業（会社名、学生の場合は学校名）を明記の上、郵送またはEメールでご応募ください。

・郵送の場合
〒643-0811
有田川町庄1042
有田川町消防本部　予防課
「第15回防火の詩」応募係

・Eメールの場合
fire119@town.aridagawa.lg.jp

●**締切日**／12月11日（金）

●**その他**
・入選作品の発表は町ホームページで行います。
・応募作品の著作権は当消防本部に帰属し、原則返却はしません。また、作品の著作権に関するトラブルなどの責任は、当消防本部では一切負いかねますのでご了承ください。

入浴事故に要注意！

秋から冬にかけて気温が低くなる季節は、入浴中の事故が増加します。その主な原因が「ヒートショック」です。

ヒートショックとは、暖かい場所から寒い場所へ移動するときなど、急激な温度変化によって血圧が大きく変動し、心臓や血管などの疾患が起こることです。目まいや立ちくらみ、ひどい場合には脳出血や心筋梗塞などの重篤な疾患を発症したり、意識を失って浴槽内で溺れてしまったりする危険があります。特に高齢者は温度変化の影響を受けやすいため、十分な注意が必要です。

入浴時は、次の点に注意し事故防止に努めましょう。

・脱衣場や浴室を事前に暖める。
・浴槽の湯温は40度以下に設定し、長湯を避ける。
・浴槽から急に立ち上がらない。
・家族や周囲の人に入浴することを伝える。

秋季全国火災予防運動

火を使う機会が増え、火災が発生しやすい季節になっています。毎年11月9日から15日まで「秋季全国火災予防運動」が実施されます。

この運動は、より一層防火の意識を持つとともに、火災による死傷者の発生や財産の損失を防ぐことを目的としています。火災の発生を防ぎ、命を守るために、日頃から火の元には十分注意しましょう。





病院の案内

「救急車を利用するほどではないけど、受診できる病院がわからない」という方に、受診可能な医療機関を案内しています。

●わかやま医療情報ネット
スマートフォンやパソコンなどで「わかやま医療情報ネット」と検索する。

●救急医療情報センター　☎073-426-1199（24時間対応）

●こども救急相談ダイヤル（平日19時～翌朝9時、土日祝9時～翌朝9時）
☎＃8000（プッシュ回線・携帯電話）　☎073-431-8000（ダイヤル回線・IP電話）